

4. 実習・施設見学・研修受け入れ状況

	施設名・内容	期 間	人数	延べ人数
実 習	鶴舞看護専門学校	2019・5/6～2020・2/28	156	1154
	市原看護専門学校(准看含む)	2019・5/20～2020・2/28	114	954
	三育学院大学(1年)	2019・7/1～2	15	30
	三育学院大学(2年)	2020・1/7～1/16	4	24
	千葉県保健医療大学(1年)	2019・7/1～26	20	20
	特定行為研修実習	2019・8/6～8/16 2020・2/12～2/21	6	48
	慢性心不全認定看護師教育課程	2020・1/14～2/18	2	50
	認定看護管理者サードレベル臨地実習	2019・10/24	1	1
	看護教員養成講習会臨地実習	2019・10/16～10/29	1	4
	計		319	2285
見学 他	インターンシップ	5/11・5/25・6/18・6/22・ 7/26・8/16	8	8
	ふれあい看護体験	7/29・8/19	12	12
	職場体験学習(大原高校、南総中)	6/5～6/7、11/27～28	4	8
	計		24	28

5. その他行事と報告会

実施日	行 事
5月11日	<p>看護の日</p> <p>相談・体験コーナー:「私も体験しています!介護食の体験や介護の共有をしよう!!」</p> <p>講師:服部認知症認定看護師、鈴木・唐鎌皮膚排泄ケア認定看護師</p> <p>ミニレクチャー:「腎臓にやさしい生活」講師:西原糖尿病看護認定看護師</p> <p>ミニレクチャー:「スキンケア」鈴木皮膚排泄ケア特定認定看護師</p> <p>「誰でも!どこでも!できる 心肺蘇生法」</p> <p>講師及びデモンストレーション:谷・宮崎集中ケア認定看護師</p>

令和元年度 資格取得一覧

研修名	氏名
AHA BLS プロバイダーコース	藤澤明香、武井翔平、 浅井香澄、吉田剛、 飯嶋和己、渡邊里美、 鵜澤美月、堀切潤
AHA ACLS プロバイダーコース	大野樹、関谷里奈、 大塚真彩、将基面沙羅
AHA PEARS 小児救命処置 プロバイダーコース	内山遼
ベイエリア千葉 ICLSコース	菊池政之、
認知症看護専門研修	石井絵理子、平井肇、久保友乃
重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	金城千夏、原田直美、 佐々木淳子、西川誘一、 斉藤千佳、積田陽子、 山田聡子、佐々木友子
認知症ケア専門士登録	
感染管理	
教育担当者講習会	
医療安全管理者研修会	中村和絵
災害支援ナース育成研修	
医療対話推進研修	
心臓リハビリテーション指導士	
東関東ストーリーリハビリテーション講習会	落合秀一
心電図検定 2級	森加壽美、内田亨
フィットテストインストラクター養成講座	魚地詩子、高澤昭代、須藤富子

院外長期研修

研修名	氏名
特定看護師行為研修	
看護管理者セカンドレベル教育課程	棚倉亜希子、福永由枝子
看護管理者ファーストレベル教育課程	大森聖子、伊藤理恵
臨地実習指導者講習会 (40日間)	長島智子

院外研修・学会発表(シンポジスト等)	人数
認定看護師特定行為研修	
看護管理者セカンドレベル教育課程 (千葉県看護協会)	2
看護管理者ファーストレベル教育課程 (千葉県看護協会)	2
臨地実習指導者講習会 (40日間コース)	1
学会発表	人数
日本褥瘡学会学術集会	1
日本褥瘡学会関東甲信越地方会	1
日本腎臓病学会	1
日本慢性疾患重症化予防学会	2
日本糖尿病教育看護学会	1

	部署名	発表課題名	発表者	学会名	年月日	形式	会場	
看護局	1	4B	セッション名「循環器疾患」 心筋焼灼術クリニカルパスを評価する	澤 佳美	第20回 日本クリニカルパス 学会学術集会	1/17	口演	熊本城ホール
	2	5B	当院のクリニカルパス作成 を推進するための取組み	難波 照美	第20回 日本クリニカルパス 学会学術集会	1/17	口演	熊本城ホール
	3	4B	入院脳神経疾患患者を対象とした 体幹身体拘束廃止への取組み	服部 真弓	第20回 日本認知症ケア 学会	5/25	口演	京都国際会館
	4	外来	GLP-1受容体作動薬の長期投与による インスリンボール形成の早期診断と 注射部位の適正化	西原 晴美	第62回 日本腎臓学会 学術集会	6/22	ポスター	名古屋国際会議場
	5	外来	GLP-1受容体作動薬による 腎保護療法中に認められた 夜間無自覚遷延性低血糖とその解決	須藤 富子	第62回 日本腎臓学会 学術集会	6/22	ポスター	名古屋国際会議場
	6	外来	Early detection and the prevention of Dulaglutide-induced asymptomatic nocturnal and persistent hypoglycemia in the patients with advanced diabetic kidney disease (DKD)	西原 晴美	79TH ADA	6/11	ポスター	SANFRANCISCO, CA
	7	外来	急速に進行する糖尿病腎症患者への支援及び 高度腎機能患者指導加算の取り組み	西原 晴美	日本糖尿病教 育看護学会	8/24	講演	関西医科大学
	8	外来	CGMが可視化した新たな課題 ：夜間無自覚遷延性低血糖と夜間血糖日差変動	西原 晴美	日本慢性疾患 重症化予防学 会	2/16	シンポジウム	兵庫医科大学
	9	外来	GLP-1受容体作動薬を用いた 腎症進展阻止療法中の夜間遷延性低血糖を 回避するためにできること	須藤 富子	日本慢性疾患 重症化予防学 会	8/4	講演	エッサム神田
	10	外来	GLP-1受容体作動薬による 腎症保護療養中に認められた夜間 遷延性低血糖とその解決	須藤 富子	日本慢性疾患 重症化予防学 会	2/16	講演	兵庫医科大学

医療安全管理室

令和元年から医療安全管理室に1名増員となり、岡嶋医療局長(室長)、齊藤副看護局長(安全管理者)、中村副看護師長が配置となった。また、感染管理部門として大塚感染管理認定看護師のほかに、5月の配置換えにより白熊感染管理認定看護師が専従となり医療安全管理室は5名での運営となった。今年度、医療安全は外部委員による院内医療事故調査委員会を4件立ち上げており、家族説明は2件終了、病院局の包括公表で1件報告した。通常の業務に加え院内事故調査委員会を病院以外で開催するため、室員の増員により対応することができた。

感染管理部門では、結核患者の対応や新型インフルエンザの患者受け入れ訓練計画・実施についても同様に対応ができた。その直後、中国の新型コロナウイルスの発生によりクルーズ船のコロナウイルス陽性患者の受け入れ等を含めレベル2～4の感染予防対策が実践となった。ICNが職員のPPE着脱訓練と防護服等の製品調達に奔走し、事務局の連携により、新型コロナウイルス感染患者受け入れ病床を現段階では縮小することなく対応できている。

医療安全監査1年後の成果としてI・Cマニュアルが完成し、医師にもI・C時に必要な項目を提示、項目に沿ったI・C用紙の作成を依頼した。同時にI・C実施時の看護師同席を増やせるように7月から運用開始し、毎月報告を受けることで同席することを意識出来、件数時にも増えつつある。

令和1年度活動実績

《医療安全関連》

1. 医療安全関連活動実績

- 1) 千葉県循環器病センター医療安全管理指針及び要綱の改訂
- 2) 患者影響度の高い事故報告事例の検証・対応・対策・共有
- 3) 医療法6条-10に関わる、院内医療事故調査の対応・検証・対策・家族説明
・報告会による職員の共有
- 4) インシデント報告の事例分析の検討及び支援・共有・マニュアルの修正
- 5) 医療安全ニュースによる警鐘事例からの注意喚起・職員のレスポンスチェック
開始
- 6) 患者・家族からの医療安全に関連したご意見の対応

- 7) インシデント・アクシデント集計報告
- 8) 医療安全研修 2 回と集合研修補講 11 回と医療安全関連の研修会の開催 3 回/年
を実施
- 9) 医療安全地域連携加算相互チェックの実施
 - ・加算 I - I の連携を 1 施設(市立青葉病院)、
 - ・加算 I - II の連携を 2 施設 (おゆみの中央病院、白金整形外科病院)

2. 院内報告制度を基にした医療安全活動

①インシデント・アクシデント・オカレンス報告基準の策定

②インシデント・アクシデントレポート報告の推進・集計・分析・報告を行った

1 回/月 医療安全管理委員会・リスクマネージャー会議を開催しレポートの集計と内容を報告した。

③事例検討

医療安全管理委員会において、患者影響度の高い事例・オカレンス事例を検討し患者影響度レベルの変更や医療事故調査報告・支援センターへの報告を決定した。リスクマネージャー会議においては、前月の報告または、改善したものを 1～2 題/月を各担当部署が事例を抽出し、対策について検討した。医療安全管理室からは全部署共有すべき内容の警鐘事例をあげ、各部門は主に 2 部署以上が関わるインシデントを取り上げ、18 事例/年の事例を分析し再発防止対策の周知・徹底に努めた。

- ・病棟の心電図モニターの下限設定値の初期設定を心拍数 30 回/分から 40 回/分へ設定変更した。また、必要時は患者ごとに設定を変更することを決定した。

- ・インシデント事例より、開胸のまま手術室を出る患者のガーゼカウント方法を検討し、より正確なガーゼカウント方法を決定し、手術室マニュアルを修正した。

- ・手術部位のマーキングについても事例で取り上げ、次年度手術室運営委員会できり決めていく方針となった。

- ・患者誤認によるインシデントを集め、作成した

- ・委員会メンバーによる事例担当制での実施は、多職種間で起きる立場の違いもお互い理解しつつ意見交換が行えるようになった。今年度は、患者誤認予防についてネームバンドの装着を各部署でチェックし、患者誤認事例の改善策を検討するよ

うにした。誤認予防マニュアルを用いて、正しい確認方法を使用し患者誤認予防を意識できるようにした。

回数	担当	事例テーマ
第1回 (4/17)	5A・ICU 4A・4B	<ul style="list-style-type: none"> ・メルカゾールの紛失 ・血液ガスデータの患者取り違えについて ・検査同意書がないまま内視鏡検査を行った確認不足について ・同姓患者の誤採血について
第2回 (5/15)	4A・薬剤部	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠導入剤の過剰内服 (薬剤師の視点より眠剤の過剰投与事例を検討)
第3回 (6/19)	外来・検査 医療安全管理室	<ul style="list-style-type: none"> ・患者誤認の集計について報告 ・検査異常値の医師の報告失念について ・患者検索システムだけを使用した事で起こった患者誤認について
第4回 (7/17)	5B・リハ	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の紛失について ・アルコール禁止患者の情報共有方法について
第5回 (9/18)	4B	<ul style="list-style-type: none"> ・胸腔ドレーンの管理方法について
第6回 (10/16)	5A・栄養科・ 放射線科	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線部門における患者間違いについて ・認知機能低下患者の自己内服の開始について ・アレルギー患者の食事提供時の職員間の情報共有方法について
第7回 (11/20)	3A・C E	<ul style="list-style-type: none"> ・患者誤認の結果、誤薬に至った経緯と対策について ・人工呼吸器使用時の点検表について
第8回 (12/18)	手術室 医療安全管理室	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーゼカウントの不一致 ・患者確認方法の不備による誤配膳について
第9回 (1/15)	ICU・CCU	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務交代時の不確実な指示確認（6Rの徹底について） ・経管栄養剤の確認間違いによる誤注入について
第10回 (2/19)	地域連携室 (継続看護) 事務局・	<ul style="list-style-type: none"> ・患者誤認によるカルテ記事の入力間違いについて ・クラークとの連携不足による採血不足の発生
第11回 (3/18)	医療安全管理室	<ul style="list-style-type: none"> ・手術患者のマーキング忘れ ・アスピレーションキット留置後の管理について

① 医療安全研修会の開催

医療法に定められた医療安全研修は年2回実施だが、全職員の参加を目指し、追加集合研修を計12回(2研修の合計)実施した。全職員(途中産休、退職、療休職員以外)509名中454名が参加している。不参加者については、4月以降に再度研修会を実施する。

また、医療安全に関連した研修会を3回実施した。

医療法による医療安全研修会

開催日	テーマ	担当部署
第1回 8月30日(金)	「職業感染対策 病院職員ならだれでも起こりうる血液体液暴露について」	医療安全管理室
第2回 1月24日(金)	医療における対話と医療安全 —インフォームド・コンセントの重要性—	医療安全管理室

医療安全に関連した研修会

放射線研修 7月12日(金)	1. 放射線安全教育研修・医療安全共催研修 「千葉県循環器病センターにおける放射線管理～コンプライアンスと運用～」 「ガンマナイフ治療のリスクマネジメント」	放射線安全委員会
防災・災害医療 8月7日(木)	1. 災害拠点病院の役割・被災者受け入れ訓練	防災・災害医療委員会
医薬品安全研修 医療機器安全研修 12月19日(木)	「栄養剤の特徴と注意点」 「経腸栄養関連器具の国際規格の導入(変更)について」 「医療機器とライフライン ～停電と浸水～」	医療安全管理室 医薬品安全管理責任者 医療機器・器具安全管理責任者

3. 随時活動

- 1) センター内ラウンド
- 2) 医療安全ニュースの発行

(医療安全管理者 齊藤美佐子)

令和元年度活動報告 集中ケア認定看護師 宮崎 智雄	
実践	<p>1)呼吸ケアチームラウンドを毎週（金）実施し、呼吸器装着中の患者に対し安全で適切な管理が行えているかについて確認した。</p> <p>4月から3月までにチームが介入した件数は362件 平均30件/月（延べ件数）であった。</p> <p>2)各種マニュアルの作成と整備及び修正 (1)院内救急カートマニュアル (2)人工呼吸器マニュアル</p>
指導	<p>1)看護局や委員会の要請を受けて研修会の講師やファシリテータとして、研修を支援した。(1)新採用者技術研修（採血・心電図）（酸素療法・吸引）(2)循環器基礎コース（循環器疾患における内科/外科看護）(3)人工呼吸器装着中の看護について講義1回</p> <p>(4)倫理研修Ⅰファシリテータ、病棟カンファレンスファシリテータ3件</p>
相談	<p>相談件数は2件/年 相談内容は 1)在宅で使用するCPAP機器の患者指導 2)急性大動脈解離術後患者の早期離床の援助と呼吸ケアの方法</p>
対外活動	<p>1) 指導：県立病院新採用者合同研修(BLS)</p> <p>2) 研修参加：第15回日本クリティカルケア看護学会学術集会、第41回日本呼吸療法医学会学術集会、「はじめての心臓血管外科」「人工呼吸器の実践知識とグラフィックモニタの読み方」「呼吸・循環・代謝を関連づけた急性期看護アセスメント」研修修了、鎗田病院看護部主催RSTカンファレンス&呼吸回診&スクイジング実習参加</p>
令和元年度活動報告 糖尿病看護認定看護師 西原 晴美	
実践	<p>① 診療報酬増収にむけての課題評価</p> <p>② 外来看護師、管理栄養士、医師と協働した糖尿病透析予防指導418件（前年度160件）高度腎機能障害患者指導加算239件（前年度28件）</p> <p>③ 糖尿病透析予防指導実施件数の把握と実績評価</p> <p>④ CGMを用いた在宅自己注射指導 732件（前年度413件）</p> <p>⑤ 日本糖尿病療養指導士と協働した合併症指導管理料399件（前年度957件）、うち皮膚排泄ケア認定看護師と協働したフットケア外来3名、糖尿病看護外来を含む（訪問看護師との連携、高齢老々世帯におけるインスリン自己注射支援、地域連携室と協働した高齢者、精神的疾患を抱える患者の見守り支援等）</p> <p>⑥ 院内糖尿病療養指導委員会における議案の提案と方向性の示唆</p> <p>⑦ 医師と協働したCGMによる遷延する無自覚低血糖の背景要因の分析とインスリンの安定した効果を得る為の注射部位の適正化</p> <p>⑧ 地域支援病院研修会講師（12/12）</p>
指導	<p>糖尿病療養指導委員会に主催における高齢者糖尿病支援、外来看護師対象責任インスリンの見方・腎症の重症度の見分け方</p>
相談	<p>日本糖尿病教育看護学会重症化予防研修の相談 学会報告に向けた支援</p>

対外活動	<p>学会発表:2件：日本腎臓病学会ポスター発表(6/22)</p> <p>日本慢性疾患重症化予防学会（2/15）及びサマーセミナーシンポジスト</p> <p>学会活動:日本糖尿病教育看護学会研修推進委員、第24回日本糖尿病教育看護学会学術集会実行委員、日本慢性疾患重症化予防学会医塾実行委員</p> <p>千葉県糖尿病看護研究会幹事</p> <p>研修会講師：日本糖尿病教育看護学会透析予防指導質向上のための研修(1/25 8/24)千葉県糖尿病対策推進会議シンポジスト（1/26）</p> <p>自己研鑽：京都大学大学院修士課程聴講生(11/13)、タイ国・イタリア認定フットリフレクソロジー資格取得</p>
-------------	--

令和元年度活動報告 感染管理認定看護師 白熊 久美子

実践	<p>院内感染対策委員会</p> <p>感染対策チームミーティング・ラウンド(抗菌薬・環境 ・尿道留置カテーテル関連尿路感染サーベイランス)</p> <p>看護局感染対策委員会</p> <p>衛生健康管理委員会</p>
-----------	--

指導	<p>県立病院群新人看護師合同研修（標準予防策について）・ハート教室（インフルエンザ）</p> <p>新採用者研修（静脈採血・尿道留置カテーテル挿入）</p> <p>院内感染対策委員会主催研修（インフルエンザについて）</p> <p>看護補助者研修（標準予防策）・地域医療支援研修会（感染対策基本のキ 標準予防策について）</p> <p>院内ミニ勉強会（結核について）</p>
-----------	--

相談	<p>病棟環境の整備・使用物品の洗浄・感染症発症患者の対応について</p>
-----------	---------------------------------------

対外活動	<p>市原保健所管内感染管理看護師連絡会</p> <p>千葉・市原 CNIC 連絡会</p> <p>市原地域健康危機管理推進委員会</p> <p>感染防止対策加算相互チェック</p> <p>感染対策地域連携カンファレンス</p> <p>感染対策教室 in 千葉 講師</p> <p>鶴舞看護専門学校 講師</p> <p>市原地域リハビリテーション広域支援センター 講師</p>
-------------	--

令和元年度活動報告 感染管理認定看護師 大塚 モエミ

実践	<p>【各種サーベイランス】心臓血管外科術後創部感染、血管内留置カテーテル関連血流感染、アルコール手指消毒剤使用量、職員の血液体液曝露サーベイランスを行い、医療関連感染事象の把握に努めた。</p> <p>【院内感染対策に関する委員会やチーム活動】院内感染対策委員会、看護局感染対策委員会、院内感染対策チーム（環境ラウンド毎水曜、抗菌薬適正使用支援チーム活動毎水曜）、を行い、院内感染対策に関するシステムを活用した活動を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者受け入れ準備・受け入れの調整を行った。</p>
-----------	--

指 導	【職員指導】病院職員に対し標準予防策遵守の為のOJTを適宜行った。 院内感染対策委員会主催研修の企画・運営を行い出席率95%。 新型コロナウイルス感染症患者受け入れ部署の職員へPPE着脱指導。 院外講師5件
相 談	院内外からの相談を電話・メール・直接などの方法で適宜受けている。
対外活動	感染対策地域連携に係る活動（公立長生病院、塩田記念病院、白金整形外科病院） 感染管理加算1取得に係る相互チェック（青葉病院、千葉中央メディカルセンター、千葉メディカルセンター） 千葉感染管理看護師ネットワークメンバー 千葉・市原地区感染対策連絡協議会メンバー
令和元年度活動報告 慢性心不全看護認定看護師 湯浅 めぐみ	
実 践	心不全患者を中心に循環器疾患患者の退院後の外来継続看護介入のべ58件 病状確認・塩分調整・食事内容等の生活状況確認し看護介入が必要な外来通院患者への看護面談のべ50件 遠隔モニタリング関連に対して介入15件 ペースメーカー植込み患者の電話相談8件 ABL・手術に対してのIC同席し意思決定支援の実施：30件 入退院を繰り返す心不全患者や高齢患者や独居患者に対して、医師・訪問看護師との調整、退院支援看護師との調整のべ8件
指 導	新人対象「心電図研修」「不整脈の見方研修」循環器看護基礎コース「循環器疾患の看護内科系」心臓リハビリテーション主催「ハート教室」3回、5A主催「心不全患者の退院指導と外来継続看護」の講師実施。4A「看護倫理」教育委員会主催「看護倫理研修」ファシリテーターの実施 北里大学看護キャリア開発研究センター慢性心不全看護認定看護師教育課程実習生2名受け入れ、実習指導を実施
相 談	入退院を繰り返す心不全患者を中心に食事や水分管理等の生活調整方法7件、遠隔モニタリング関連2件、外来継続看護内容相談1件、再狭窄を繰り返す患者へのアプローチ方法1件、ACP導入のタイミングについて1件、CPAP導入装着患者の外来サポート1件 合計13件
対外活動	鶴舞看護専門学校での「成人看護学援助法Ⅱ循環器」講師を実施。
令和元年度活動報告 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 鈴木 由加	
実 践	看護専門外来 延べ患者数150名 ストーマケアのべ55件 局所陰圧閉鎖療法のべ320回 デブリードマンのべ34件 重度褥瘡処置 340件 在宅患者訪問看護指導10件 退院後訪問看護指導5件 在宅寝たきり患者処置指導管理 30件 人工膀胱・人工肛門術前処置加算4件 褥瘡・下肢末梢動脈閉鎖、重症下肢虚血・スキンテア等創傷ケア のべ60名 外部施設連携：創傷ケアサマリー作成 28件 *外来乳がん末期、糖尿病性腎不全患者のPAD 症例に対してACPを踏まえた在宅療養支援の実施

指 導	<p>下肢静脈瘤に関する圧迫療法指導 50 件 個別性に合わせた失禁管理 8 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外科病棟におけるストーマサイトマーキング指導（研修修了者 2 名） ・ 透析室 Ns へ要件・看護実践・指導<下肢末梢動脈疾患指導管理加算> ・ 学会認定<臨床スキンケア看護師> 8 名に対し研修 資格取得指導 ・ 弾性ストッキングコンダクター 2 名に対し資格取得指導
相 談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体圧分散寝具クッションの選択 適切なポジショニング ・ 迷走神経刺激装置 VNS 植え込み術前後のスキンケア 頭蓋内電極埋め込みのスキンケア セルフケア ・ 地域スタッフからの創傷ケア相談
対外活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東関東ストーマリハビリテーション講習会実行委員 ・ 日本創傷・オストミー・失禁管理学会 評議委員 ・ 市原、長生、茂原 褥瘡ゼロの会 世話人会 ・ 市原市在宅医療、介護連携推進会議 ICT 普及部会 部会員 ・ 透析専門病院訪問（ミニ講座付）：人工透析患者の下肢末梢動脈疾患重症化予防として連携専門病院の立場で、3 クリニックと連携（地方厚生局届け出された） ・ 日本看護協会 特定行為研修（創傷管理モデル）実習 指導 3 名受け入れ ・ 第 21 回日本褥瘡学会学術集会 ランチョンセミナー <褥瘡ケアにおける急性期医療と在宅医療の連携>講演 ・ 国際モダンホスピタルショウ 2019 日本看護協会特別セミナー <特定行為研修を修了した認定看護師の立場からの報告> 講演 ・ 公私連合会病院 看護管理セミナー<特定行為研修修了後の活動>講演 ・ 白十字社社内研修アドバイザー研修 高齢者における皮膚排泄ケア 講師 ・ 千葉県看護協会生涯教育研修 最新の褥瘡予防とケア 講師 ・ 千葉県病院薬剤師会南部支部研修 褥瘡の創傷管理 講師 ・ 日本褥瘡学会関東甲信越地方会 千葉県支部褥瘡セミナー<地域につなぐ褥瘡ケア>シンポジスト ・ 循環器病センター地域支援研修 創傷ケア研修講師
令和元年度活動報告 認知症看護認定看護師 服部 真弓	
実 践	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアチーム活動 4 年目、ラウンド患者数は延べ 8 3 9 名。認知機能検査 3 件、認知機能低下患者への対応 9 件、不眠患者への対応 2 件、生活リズム調整への対応 1 件、家族への対応 3 件。 ・ 精神科リエゾンチーム活動 3 年目、ラウンド患者数 1 1 3 名。手術後や呼吸器疾患患者の多い部署のせん妄を伴う患者の身体拘束の解除へ取り組みを行った。せん妄症状の観察内容の共有やせん妄に関連した薬剤の周知を行い、せん妄の予防や早期対応を行い、体幹身体拘束を廃止することができた。せん妄患者への対応 2 件、アルコール離脱症状への対応 1 件、ターミナル患者への対応 2 件。
指 導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアリンクナース会 3 年目、リンクナース会 7 回を実施し事例検討を 6 回実施し、各部署で認知症ケアを意識できるように実際のケアや対応困

	<p>難事例を共有した。せん妄スクリーニング・対応表の修正、せん妄の説明用紙を作成した。認知症ケア勉強会 8 回、せん妄勉強会 5 回、倫理カンファレンス 3 回を実施。</p> <p>ターミナル期の患者支援 1 件、認知症者への家族への関わり支援 3 件、アルコール離脱症状患者への対応 1 件、薬物療法について 1 件指導した。</p>
相 談	せん妄患者への対応 6 件、ターミナル患者への対応 1 件、内服相談 3 件 認知機能低下患者への対応 2 件
対外活動	認知症ケア学会発表
令和元年度活動報告 集中ケア認定看護師 谷 明子	
実 践	<p>1) 救急カート院内統一に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内救急カートの標準化に向けて救急カートマニュアルの作成を行い、救急カート 14 箇所の整備を実施 <p>2) 患者ケアに関する看護の質の向上に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期を迎えた患者の倫理カンファレンスを部署内で 4 件実施 ・CCU 内での心不全に対する心臓リハビリテーションの実施に向けた取り組みとして勉強会を実施 ・DVT ワーキングへの参加を行い、ガイドラインによりチェックシートや運用について関与 ・RCT ラウンドを RCT メンバーとして実施 <p>全体件数述べ 352 件（平成 31 年 4 月～令和 2 年 2 月）</p>
指 導	<p>OJT を通して集中治療における情報収集とアセスメント方法について助言を行ってきた。部署内での ROSC 後早期呼吸リハビリテーションについて助言を実施 2 件</p> <p>【院内講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器基礎コース講師「フィジカルアセスメント（循環器）」 ・新人研修指導員「心電図、採血研修」 ・新人研修講師「酸素療法・吸引」 ・ファシリテーター「倫理研修」
相 談	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器使用患者の呼吸リハビリテーションに関する相談 4 件 ・在宅における呼吸機器の使用法の患者、家族に対する指導の相談 2 件 ・人工呼吸器使用患者の人工呼吸器ウィーニングに関する相談 1 件 ・長期人工呼吸器使用患者の誤嚥性肺炎予防に関する相談 1 件 ・人工呼吸器使用中のネブライザー管理に関する相談 1 件 ・重症肺炎患者に関する肺ケアに関する相談 2 件
対外活動	<ul style="list-style-type: none"> ・県立病院群新採用看護師合同技術研修「急変時の対応」講師 ・鶴舞看護専門学校「BLS」「ICLS」講師 ・循環器病センター内 ICLS コース企画・運営 ・千葉県看護協会「新人看護師研修 心電図」講師 ・呼吸器疾患フォーラム講師「包括的呼吸リハビリテーションを目指して」

令和元年度活動報告 皮膚・排泄ケア認定看護師 唐鎌 艶子	
実践	褥瘡ケア：74名、下肢潰瘍ケア：13件、スキンケア：65件、 ストーマケア：10件、医療関連機器圧迫創傷：16件、IADケア：3名 処置に関連する記録や入力方法の周知・啓蒙
指導	上記実践においての目標の設定とケア方法の指導 創の評価において DESIGN-R の評価方法と記録の指導 TIME 理論に基づいた評価方法と記録の指導 患者や家族への継続したケアが必要な場合のケア方法の指導
相談	褥瘡の処置に対する相談 褥瘡予防ケアに関する相談：体圧分散寝具の検討 高機能エアーマットの設定について 褥瘡好発部位に対するケアについて スキンケアについて スキンケアの処置に関する相談や予防ケアについての相談 医療関連機器圧迫創傷ケアに関する相談や予防ケアについての相談 創傷ケア方法に関する相談 点滴漏れに対するケア方法の相談
体外活動	講師：千葉県立病院群 新人看護師合同技術研修 市原看護専門学校
令和元年度活動報告 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 白土 裕子	
実践	1. 脳神経看護 脳神経患者の看護介入総数 103 件(前年度より+21 件)介入延べ件数 368 件 (+193 件)支援内容は ADL/生活/症状確認 300 件、介護状況 29 件、服薬状況 10 件、生活指導 18 件、制度説明 11 件、発作状況 8 件、嚥下/排泄障害 7 件、 訪問看護介入患者総数 13 名、退院後の外来継続介入 8 件、運動パンフレット 運用開始、筋肉量評価対象者 18 名、運動指導 46 件、運動/食事状況確認 61 件、InBody 測定 61 件、簡易栄養状態評価導入開始し評価 43 件、栄養指導 3 件依頼。内科チームと協働しフットケア外来 1 件、透析予防指導 1 件実施、 運動パンフレット配布件数 88 件、脳神経患者対象に NANDA 立案 49 件、脳神 経外来における継続介入方法、運動導入/評価手順作成、口腔ケアチーム登録 /口腔ケアアセスメント運用開始、運用開始後の各部署における事態調査、フ ロー、Q&A 作成、電カル上の文書、チーム登録内容の修正検討、口腔ケアチー ムミーティング、口腔ケアラウンド参加、口腔ケアチーム要項修正、脳神経 外来における認知機能検査の運用要項/フロー作成し運用開始 2. てんかん看護 てんかん患者の看護介入総数 70 名、介入延べ件数 93 件、初診時の問診 13 件、支援内容は、発作状況確認 46 件、検査入院支援 16 件、生活指導 14 件、 制度説明 6 件、生活状況 13 件、症状確認 10 件、他科調整 3 件、就学/就労支 援 2 件、外科手術に対する意思決定支援 3 件、IC 同席 4 件、5B スタッフと 外科手術患者の情報共有、てんかんカンファレンス参加、生活支援/外科手術

	のパンフレット完成、てんかん看護師育成、てんかん電話相談件数/時間帯調査、血中濃度における注意事項の説明用紙作成
指導	院内講師 11 件(新規採用者集合研修「高齢者・片麻痺患者の特徴」、認知機能評価について 2 件、循環器看護基礎コース「脳神経看護」「脳神経疾患 急変時の対応」 倫理研修ファシリテーター5 件、運動パンフレットを用いた運用方法)
相談	運動指導方法、外来患者の転倒リスク/対応、脳卒中後のうつ症状、TAVI 術後の筋力低下、認知機能検査の運用について(外来)、てんかん外科手術を控えている患者/家族支援、家族との調整方法(5B)
対外活動	【院外研修参加】てんかんに対する医療ケア実践講座、てんかん・けいれん・失神の区別 e-Synposium 【院外講師】鶴舞看護専門学校「老年看護学 脳神経看護」講師、千葉県立病院群新人看護職員合同技術研修

検査科

1.人員構成 臨床検査技師21名(パート1名含む)、検査補助1名

	平日	夜勤、休日
検体検査	13名	1名
生理検査	9名	—
計	22名	1名

2.検査業務

1) 検査業務

年度別検査件数

単位:件

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総件数	1,591,677	1,758,586 ↑	1,747,897 ↓
院内件数	1,555,067	1,709,562 ↑	1,701,770 ↓
委託件数	36,610	49,024 ↑	46,127 ↓

↑:前年比増、↓:前年比減

検査分野別件数推移

単位:件

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
生化学	959,767	1,056,962 ↑	1,090,006 ↑
血清	51,776	58,745 ↑	52,726 ↓
血液	334,982	346,512 ↑	314,006 ↓
一般	160,868	204,280 ↑	207,985 ↑
輸血	14,387	14,805 ↑	16,183 ↑
細菌	45,241	52,432 ↑	43,444 ↓
病理	1,908	2,985 ↑	2,216 ↓
生理※	22,748	21,865 ↓	21,331 ↓

↑:前年比増、↓:前年比減

※生理検査の内訳

単位:件

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
12誘導心電図	12,874	12,482 ↓	12,353 ↓
ホルター心電図	1,016	856 ↓	724 ↓
イベント時心電図	222	215 ↓	214 ↓
トレッドミルテスト	134	102 ↓	100 ↓
RI負荷心筋シンチ	129	139 ↑	91 ↓
心肺運動負荷試験	50	33 ↓	17 ↓
加算平均心電図	17	3 ↓	6 ↑
24時間血圧解析	31	41 ↑	40 ↓
ABI/PWV	1,785	1,523 ↓	1,536 ↑
脳波	459	424 ↓	558 ↑
睡眠時無呼吸検査	73	76 ↑	84 ↑
呼吸器能検査	1,148	1,359 ↑	1,040 ↓
ピロリ菌UBT	42	23 ↓	21 ↓
皮膚灌流圧	27	27 —	28 ↑
心臓エコー	1,477	1,572 ↑	1,485 ↓
腹部エコー	317	225 ↓	190 ↓
頸動脈・他エコー	1,605	1,559 ↓	1,632 ↑
聴力検査	1,342	1,203 ↓	1,146 ↓

↑:前年比増、↓:前年比減

2) 新たな取り組み

4月 2交代制勤務開始

技師2名が増員し、2交代制勤務を実現することができました。

4月 迷走神経刺激装置(VNS)植え込み手術時の設定入力業務開始

10月 臥位エルゴメーター運動負荷心エコー検査業務開始

11月 fMRI撮影時脳波電極装着業務開始

3) 設備更新

呼吸機能検査装置(CHESTAC-8900DN型)

運動負荷装置一式(負荷心エコー)

薬品冷蔵ショーケース

4) その他

チーム医療 院内感染対策チーム(ICT) 参画

専門医療 てんかんセンターでの脳波測定

(術中脳波、長時間ビデオ脳波、頭蓋内植え込み脳波)

3.資格取得状況

今年度は、超音波検査士(循環器)1名の認定を受けることができました。

検査の知識やレベルの向上のため、さらなる各種資格取得を目指します。

資格名称	人数
日本超音波医学会認定超音波検査士(循環器)	3名
日本超音波医学会認定超音波検査士(消化器)	1名
血管診療技師	2名
認定臨床微生物検査技師	2名
感染制御認定臨床微生物検査技師(ICMT)	2名
認定輸血検査技師	1名
認定血液検査技師	1名
糖尿病医療指導士	1名
緊急臨床検査士	1名
細胞検査士	1名
有機溶剤作業主任者	1名

放射線科

1 概要

9月に13年間使用した1.5テスラのMRIを更新いたしました。ガンマナイフにかかる治療計画や外来診療に対応できる環境が再整備されました。これを機に、近年、重点化している、てんかんの分野において、MR画像と脳波を同時に解析器に取込むことで、てんかんの発作部位を調べ解析する検査体制が確立されました。二つ目には、MRIと解析器を用いて心臓や大血管の血液の流れを調べ画像化する検査を始めました。心臓血管外科、循環器科、小児科より検査の依頼がありますので、患者さん一人ひとりの検査を大切にして、患者さんのためにより良い情報が提供できるように努めてまいります。

放射線検査件数の推移に目を転じれば、核医学の心臓検査が前年度と比較し49件減少しました。一方ではMRIの心臓検査が29件の増加となっています。心臓MRIは臓器形態や心機能、心筋性状、血流など幅広い情報が捉えられるようになってきました。近年、検査技術や解析技術の進歩には目を見張るものがあり、今後は心臓領域の中核的画像検査に育っていくものと期待しています。

私たち放射線科は、これからも検査や治療支援にかかる技術を日々高め、患者さんのためになれるよう目指して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(景山貴洋)

2. スタッフについて

診療放射線技師 17名

放射線業務補助 2名

*認定技師等資格取得状況

救急撮影認定技師	松本正信 世利峻
医療情報専門技師	藤村公治 川崎康平
第1種放射線取扱主任者	川崎康平 長渡努
上級磁気共鳴(MR)専門技術者	川崎康平
乳房撮影認定技師	小野沙知 田久保早紀 岩瀬咲 原田怜奈 長渡努

日本血管撮影・インターベンション専門技師

世利峻 松本正信

BLS ヘルスプロパイダー

世利峻 小野沙知 岩瀬咲 田久保早紀

* 病院局職員表彰

チャレンジ賞

松本正信

3. 令和1年度 放射線検査・治療件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
一般撮影	1,907	1,935	1,887	2,069	2,079	1,638	1,894	1,831	1,951	1,896	1,743	1,879	22,709
ポータブル	782	698	728	710	612	632	695	702	850	827	609	634	8,479
血管撮影	115	104	112	127	113	82	92	111	103	103	91	117	1,270
TV透視	21	26	24	25	13	10	16	17	23	21	26	28	250
CT	711	645	671	672	664	573	672	731	731	738	621	692	8,121
MRI	410	353	375	443	387	330	355	389	359	415	354	377	4,547
核医学	27	28	28	31	20	17	23	25	21	22	16	15	273
ガンマ治療	41	24	30	15	34	26	32	32	37	27	25	33	356
その他	503	470	450	478	501	411	450	433	448	444	372	434	5,394

平成27～令和1年度の主な放射線業務の件数

CT診療科別

	H27	H28	H29	H30	R1
脳外	1,976	1,983	1,494	388	524
神内	1,494	1,325	1,061	638	467
循環器	2,217	2,077	1,916	2,048	2,147
心外	2,044	1,957	2,191	2,443	2,364
外科	696	742	715	716	755
内科	2,051	1,252	1,421	1,850	1,621
小児	94	81	63	56	77
耳鼻	163	138	158	154	87
整形	17	15	18	14	20
歯科	47	52	67	63	56
眼科	8	2	5	1	3
他	1	0	1	1	0

CT部位別

	H27	H28	H29	H30	R1
頭頸部	3,940	3,591	2,981	1,534	1,560
胸腹部	3,628	2,950	2,593	3,012	3,024
大血管	2,301	2,256	2,308	2,545	2,375
冠動脈	740	723	901	944	744
他	199	104	327	337	418

CT単純、造影別

	H27	H28	H29	H30	R1
単純	8,474	7,621	6,871	6,214	6,371
造影	2,334	2,003	2,239	2,158	1,750

MRI診療科別

	H27	H28	H29	H30	R1
脳外	3,581	3,414	3,458	2,608	2,546
神内	1,794	1,813	1,378	851	651
循環器	410	319	370	370	417
心外	136	113	131	168	193
外科	43	41	45	54	63
内科	877	738	805	533	533
小児	59	56	40	25	38
整形	175	151	152	101	84
耳鼻	21	49	22	24	22
他	3	5	1	5	6

MRI部位別

	H27	H28	H29	H30	R1
ガンマ	1,909	1,843	1,937	1,814	1,807
頭頸部	4,396	4,221	3,700	2,266	2,021
脊椎	305	254	281	209	226
心臓	164	116	206	174	203
胸腹部他	325	265	278	276	290

	H27	H28	H29	H30	R1
ガンマ治療	530	495	496	388	356

核医学診療科別

	H27	H28	H29	H30	R1
脳外	60	56	75	33	24
神内	86	78	72	119	75
循環器	157	133	108	119	77
心外	58	62	46	41	30
外科	20	33	36	29	18
内科	74	40	10	37	45
小児	15	6	9	4	4

核医学検査別(5項目)

	H27	H28	H29	H30	R1
脳血流	85	77	106	80	47
脳シンチ	23	10	6	11	6
心臓	230	204	135	145	96
肺	10	10	10	7	7
骨・腫瘍	68	50	54	70	61

血管撮影種類別

	H27	H28	H29	H30	R1
心カテ診断	662	635	616	517	407
心カテIVR	383	386	388	336	277
PCI	359	340	353	306	250
TAVI	4	32	29	27	24
アブレーション	189	219	243	277	279
ペースメーカー	160	169	183	138	164
DSA脳	50	53	42	29	23
DSA他	87	72	81	112	115
術中DSA	4	9	16	12	13

一般撮影部位別

	H27	H28	H29	H30	R1
胸部	19,925	18,127	17,699	19,117	18,600
腹部	1,933	1,619	1,515	1,554	1,488
頭頸部	602	576	509	412	393
脊椎	1,162	1,098	954	649	572
乳房	239	242	186	220	180
パントモ	348	573	434	378	551
骨密度	466	489	287	409	396

*H29年度骨密度 故障期間あり

紹介画像の取込み及び画像出力

	H27	H28	H29	H30	R1
CD取込み	1,554	1,537	1,745	1,630	1,553
CD出力	4,046	3,565	3,852	3,276	3,093
フィルムコピー	2	0	0	0	1
フィルム取込み	118	81	67	56	45
フィルム出力	2	2	1	0	1

病棟撮影	8,024	6,911	7,329	9,912	8,479
------	-------	-------	-------	-------	-------

X線テレビ	870	681	716	827	797
-------	-----	-----	-----	-----	-----

*透視造影+内視鏡の件数

薬剤部

1. スタッフ

平成31年度は薬剤師12名、医療助手2名での業務となりました。

2. 薬剤業務

平成30年度と比べて、入院における処方箋枚数は減少しましたが、調剤件数、調剤数は増えました。注射箋枚数、TPN調製件数は減少しましたが、抗がん剤調製件数は増えました。服薬指導算定料は減少しました。

平成31年度はてんかんセンターが設立され、抗てんかん薬のTDMに薬剤師が関わっています。現在、カルバマゼピン、バルプロ酸ナトリウム、フェニトイン、フェノバルビタールのTDMを実施しています。

平成31年度は2交替制勤務に変更となったため定数が1名増えました。病棟担当者不在時の服薬指導件数が減少しないようにフォロー体制を整えました。

平成31年度における薬学生の実務実習受け入れ人数は4名でした。

3. 研究発表等

平成31年度は院内学術集会での発表のみでした。

4. 今後について

病棟薬剤業務実施加算1の取得を目標に各病棟に薬剤師が早く常駐できるよう努力していきたいと思います。

現状としては服薬指導の算定件数を増やすとともに、患者から得た情報を医師、看護師にフィードバックし、より一層情報の共有化を図っていききたいと思います。

抗てんかん薬のTDMも複数の薬剤師が関わられるようにレベルアップを図っていききたいと思います。

また近年、高度化する医療の進歩に伴い、薬剤師の専門性を活かすためのさまざまな認定制度が導入されています。薬の専門家として医療の質の向上や医療安全の確保に不可欠な存在となれるよう積極的に資格取得を目指し、医療チームの一員として薬剤師の職能を発揮できるよう努力していきたいと思います。

(山老 繁樹)

【1】調剤の状況(31年度)

区分	31年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数
外来	院外処方箋枚数	46,221	4,041	3,787	3,724	4,109	3,976	3,536	4,167	3,656	4,061	3,804	3,565	3,795
	院内処方箋枚数	1,533	120	115	116	126	128	138	117	122	172	145	117	117
	調剤件数	8,808	652	700	635	651	726	838	852	687	847	851	678	691
	調剤数	101,070	8,409	6,241	8,125	8,992	8,188	9,152	8,230	8,761	9,097	9,270	8,720	7,885
入院	処方箋枚数	32,101	2,955	2,733	2,621	2,886	2,687	2,301	2,629	2,464	2,933	2,742	2,527	2,623
	調剤件数	77,588	6,933	6,572	6,386	6,854	6,897	5,445	6,380	5,828	6,951	6,350	6,981	6,011
	調剤数	548,474	52,953	46,502	43,065	47,840	52,866	36,088	45,039	40,504	55,238	40,877	43,970	43,532

【2】注射調剤に関する項目

①注射個人セット

	31年度		31年度内訳											
	総数	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
注射箋枚数	14,500	1,585	1,174	1,225	1,351	1,084	1,059	1,064	1,160	1,307	1,386	1,042	1,063	
処方件数	36,214	4,006	2,850	2,959	3,344	2,591	2,713	2,662	2,902	3,461	3,461	2,542	2,723	

②TPN調製

	31年度		31年度内訳											
	総数	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
注射箋枚数	456	45	52	72	55	35	19	34	23	53	20	20	28	
処方件数	472	50	56	75	55	35	19	38	23	53	20	20	28	

【3】抗癌剤調製集計

区分		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		入院	処方枚数	46	3	3	3	4	2	2	8	5	4	4
	件数	48	3	3	3	4	2	2	8	5	5	5	1	7
外来	処方枚数	103	6	8	6	7	10	8	15	4	7	15	15	2
	件数	151	9	8	9	9	15	14	25	7	12	23	16	4

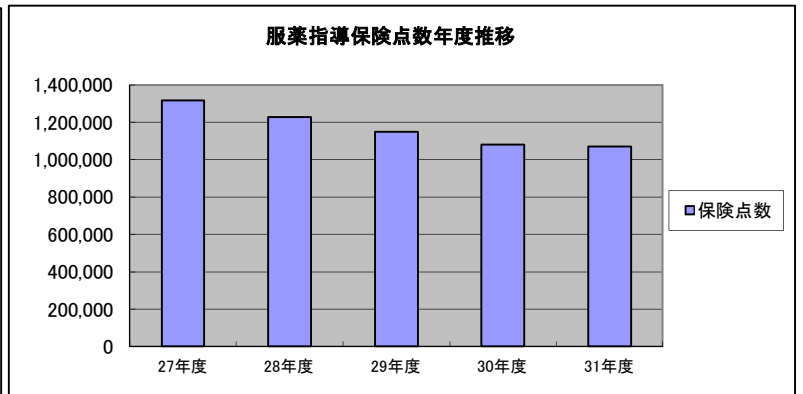
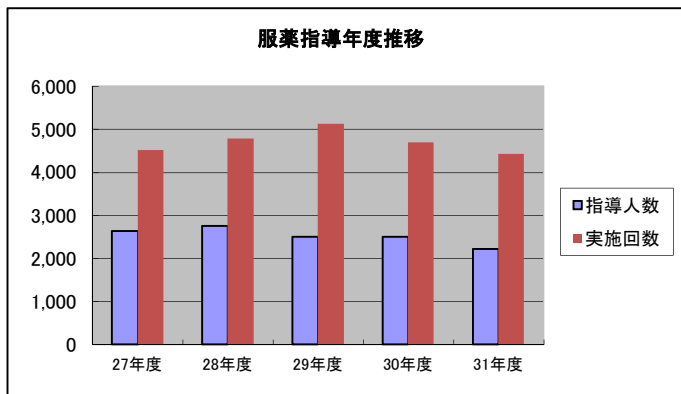
【4】服薬指導の状況

①年次比較

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指導人数	2,646	2,752	2,503	2,500	2,228
実施回数	4,517	4,788	5,120	4,697	4,429
算定回数	3,082	4,569	4,215	4,038	3,849
保険点数	1,316,205	1,228,195	1,148,315	1,082,085	1,068,970

② 年度月別状況

	年度総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導人数	2,228	194	181	190	225	207	161	177	175	186	158	178	196
実施回数	4,429	393	343	363	479	410	307	327	349	394	308	365	391
通常回数	556	64	53	44	74	48	26	70	43	28	36	36	34
ハイリスク回数	2,042	163	151	163	205	178	146	177	162	183	142	173	199
麻薬回数	7	0	2	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1
退院管理回数	1,244	103	97	99	123	120	81	103	100	119	81	104	114
算定回数合計	3,849	330	303	307	402	346	254	351	305	331	259	313	348
保険点数	1,068,970	92,010	83,435	85,200	113,020	94,040	71,270	99,330	84,535	89,400	72,950	86,800	96,980



【5】薬品鑑別

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
鑑別薬品数	13,207	1,240	1,208	1,278	1,035	1,158	904	1,097	1,079	1,124	986	903	1,195

【6】抗てんかん薬TDM

	CBZ	VPA	PHT	PB	
31年度総件数	45	26	14	4	1

【地域医療連携室】

令和元年度は、地域医療連携室長、看護師長、看護師3名、医療福祉相談員1名、事務員5名（常勤換算約3.5名）で活動した。

1. 令和元年度は、紹介予約業務を軌道に乗せるため、紹介予約枠の設定を行った。紹介予約件数は年間で1084件となった。医療機関からの紹介よりも、患者自身から電話での紹介予約件数が多かった。
2. 令和元年度、地域医療支援病院紹介率44.89%、逆紹介率62.97%で紹介率は前年と比較し横ばいで推移したが、逆紹介率は前年の数値を上回った。
3. 地域医療連携室入退院支援部門に入院時支援担当看護師が配置され、入院前に患者情報を収集し、入院予定先の病棟と患者情報を共有している。また、入院後の治療やスケジュール等についても、患者に説明していることで患者・家族の不安を軽減することに役立て、退院支援についても早めのアセスメントと対策を立案することに繋げている。
4. 地域の医療関係者との連携について、地域医療支援研修会を1回/月定期的で開催した。
地域連携シートA表：216件 訪問看護ステーション36件 訪問薬剤2件
紹介状の返信を電子カルテヤギー文書で作成できるように業務を効率的にした。
5. 患者相談件数：2506件、患者サポートカンファレンスは1回/週定期開催し共有した。
6. 業務マニュアルを作成した。（①入院時支援、地域医療連携室業務、MSW業務マニュアル）透析施設情報を電子カルテ、新ファイルサーバーに作成し、定期的に更新した。

【地域医療連携室関係算定件数 2019年4月～2020年3月迄】

- ・入退院支援加算2（190点）1535件
 - ・入院時支援加算2：入退院支援加算」（200点）609件
 - ・介護支援連携指導料」（400点）60件
 - ・退院時共同指導料2」（400点）9件
 - ・患者サポート充実加算」（70点）2959件
7. 医療福祉相談員の介入
援助内容は転院調整が最も多く、その他では療養上の問題調整、退院援助（施設）、退院援助（自宅）、経済的問題への調整であった。認知症/リエゾンチーム、てんかんチームとしても活動した。

文責:後藤 裕子

令和元年度は、台風被害による停電や大雨による地下の浸水など、自然災害による突発的な事象への対応を迫られる事が続いた。清掃、滅菌、施設管理部門など、日頃は目立たない部門が病院機能維持や、感染対策上の非常に重要なキーパーソンであることを改めて実感する1年であった。

また、年が開けてからは新型コロナウイルスによる新興感染症が発生し、当院も患者受け入れを行うこととなった。「初めて」の連続に院内調整には多大な労力を必要としたが、事故なく患者受け入れを行うことができた。本年度の様々な体験を今後の院内感染対策に活かし、さらなる感染対策体制強化へつなげ、患者・職員ともに安心・安全な感染対策実践を今後も目指したい。

令和元年度活動実績

感染管理システム	<p>【院内感染対策委員会】毎月開催、新型コロナ対応委員会を1月より適宜開催。</p> <p>【院内感染対策チーム】環境ラウンド、抗菌薬ラウンド、清掃ラウンド。各部署の感染対策上の問題点へ介入。</p> <p>【看護感染対策委員会】アルコール手指衛生剤サーベイランスの実施。手指衛生遵守状況の直接観察実施。感染管理ベストプラクティス遵守に向けて現状調査を行い、手技統一に向けた指導を実施。</p>
医療関連感染サーベイランス	<p>【術後創感染サーベイランス】心臓血管外科で実施中</p> <p>【多剤耐性菌サーベイランス】</p> <p>細菌検査室の集計データをもとに、アウトブレイク監視実施</p> <p>【アルコール擦式手指衛生剤サーベイランス】</p> <p>使用量モニタリング&フィードバック</p> <p>【エピネットによる血液体液曝露事例の集計】令和元年度針刺し・切創 10件 血液・体液の粘膜曝露 1件、職種内訳：医師 4件、看護師 6件、コメディカル 1件</p>
感染防止技術	<p>院内感染対策マニュアル改訂：1項目</p> <p>院内感染対策マニュアル新規作成：2項目</p>
職業感染管理	<p>血液・体液曝露予防策：個人防護具使用状況をラウンド時に適宜指導。</p> <p>新採用者・異動者のMMRV抗体価測定、ワクチン接種。全職員QFT検査実施。</p> <p>血液・体液曝露事例に関して衛生健康管理委員会と情報共有</p>
感染管理指導	<p>新入職員研修、看護補助者研修、検査部職員研修など適宜実施</p> <p>院内感染対策委員会主催研修：定例5回、追加研修4回で出席率98%</p> <p>職員への個人防護具の着脱訓練。N95マスクフィットテスト実施。</p>
感染管理相談	<p>白金整形外科病院へ医療安全連携に伴う感染管理応援のため1回/月訪問開始。</p>
ファシリティマネジメント	<p>清掃業者が変更に伴う院内調整</p> <p>自然災害発生に伴う各種調整</p>

その他

診療報酬に関わるカンファレンス等の企画・開催

感染管理加算2 取得施設連携：塩田記念病院、公立長生病院とのカンファレンスを年4回開催した。

加算1 感染対策相互チェック：青葉病院、千葉メディカルセンター、千葉中央メディカルセンターと行った。

(感染管理認定看護師：白熊 久美子)

入院及び外来実績



令和元年度 医事統計 総括表

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
外来患者	診療実日数 a	243 日	244 日	244 日	243 日
	新患者数 b	7,358 人	7,099 人	6,556 人	6,224 人
	延患者数 c	83,326 人	81,879 人	82,392 人	79,724 人
	平均通院日数 c/b	11.3 日	11.5 日	12.6 日	12.8 日
	一日平均患者数 c/a	342.9 人	335.6 人	337.7 人	328.1 人
入院患者	稼働日数 d	365 日	365 日	365 日	366 日
	稼働病床数 e	220 床	220 床	207 床	207 床
	新入院患者数 f	3,800 人	3,659 人	3,298 人	3,024 人
	退院患者数 g	3,797 人	3,691 人	3,288 人	3,029 人
	延入院患者数 h	55,652 人	52,880 人	48,626 人	47,291 人
	病床利用率 i	69.3 %	65.9 %	64.4 %	62.4 %
	平均在院日数 j	14.7 日	14.4 日	14.8 日	15.6 日
	一日平均患者数 h/d	152.5 人	144.9 人	133.2 人	129.2 人
	病床回転数 d/j	24.9 回	25.4 回	24.7 回	23.4 回
	外来入院比率 c/h	149.7 %	154.8 %	169.4 %	168.6 %
	入院率 f/b	51.6 %	51.5 %	50.3 %	48.6 %

* 診療実日数 = 土曜、日曜、祭日を除く

* 稼働病床数 = 207床(一般病床7:1、160床・地域包括ケア病棟、40床・ICU、CCU、各10床)

* 病床利用率 = 延入院患者数h/(稼働日数d×稼働病床数e)×100

* 一日平均患者数 = 延患者数c/診療実日数a

* 平均在院日数 = 延入院患者数h/(新入院患者数f+退院患者数g)×1/2

* 病床回転数 = 稼働日数d/平均在院日数j

* 外来入院比率 = 延患者数c/延入院患者数h×100

* 入院率 = 新入院患者数f/新患者数b×100

入院延患者数

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	月 別 内 訳											
		総 数	総 数	総 数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
循 環 器 科	入院	1,515	1,523	1,298	109	116	122	112	105	85	97	102	110	121	94	125
	退院	1,481	1,484	1,256	114	107	117	110	108	79	104	87	123	100	103	104
	患者数計	19,940	21,474	20,143	1,749	1,754	1,963	1,738	1,584	1,442	1,519	1,666	1,813	1,715	1,572	1,628
心 臓 血 管 外 科	入院	333	301	305	29	22	28	26	21	26	24	27	24	29	25	24
	退院	362	337	337	32	18	30	29	31	27	27	25	34	23	30	31
	患者数計	8,147	8,520	7,835	742	613	602	726	652	596	632	563	694	659	712	644
神 経 内 科	入院	379	225	162	16	12	13	25	20	12	10	12	14	12	6	10
	退院	387	222	175	23	15	13	21	27	11	12	10	17	6	5	15
	患者数計	8,035	4,751	4,437	523	341	263	441	552	302	309	256	359	300	439	352
脳 神 経 外 科	入院	764	457	466	48	31	38	28	38	36	41	43	47	36	33	47
	退院	796	458	458	47	32	35	24	46	34	37	44	51	31	35	42
	患者数計	7,258	2,024	2,435	227	153	203	134	221	171	189	252	245	182	219	239
内 科	入院	244	404	444	41	36	44	40	39	33	46	33	37	36	28	31
	退院	234	390	443	41	41	36	41	41	35	39	34	43	34	29	29
	患者数計	3,569	5,955	6,619	653	570	599	591	538	569	511	495	613	581	411	488
外 科	入院	238	241	215	14	21	12	19	18	19	18	18	22	21	16	17
	退院	245	246	228	19	16	13	21	23	14	21	18	22	27	13	21
	患者数計	3,580	3,588	3,780	346	286	304	341	291	208	300	301	391	361	287	364
小 児 科	入院	143	114	102	10	8	8	16	13	9	8	8	5	8	2	7
	退院	143	118	100	10	5	7	17	15	8	8	9	7	2	8	4
	患者数計	2,191	2,223	1,961	136	204	196	203	167	148	210	217	89	146	138	107
呼 吸 器 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	患者数計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整 形 外 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	患者数計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	患者数計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳 鼻 咽 喉 科	入院	7	5	9	0	1	2	0	0	3	1	0	0	1	0	1
	退院	7	5	9	0	1	2	0	0	3	1	0	0	1	0	1
	患者数計	22	10	18	0	2	4	0	0	6	2	0	0	2	0	2
皮 膚 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	患者数計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯 科	入院	36	28	23	0	0	1	1	4	2	3	1	3	3	2	3
	退院	36	28	23	0	0	1	1	4	2	3	1	3	3	2	3
	患者数計	138	81	63	0	0	2	4	14	4	8	2	7	6	6	10
総 数	入院	3,659	3,298	3,024	267	247	268	267	258	225	248	244	262	267	206	265
	退院	3,691	3,288	3,029	286	235	254	264	295	213	252	228	300	227	225	250
	患者数計	52,880	48,626	47,291	4,376	3,923	4,136	4,178	4,019	3,446	3,680	3,752	4,211	3,952	3,784	3,834

外来取扱延患者数

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	月 別 内 訳											
		総 数	総 数	総 数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
循 環 器 科	初 診	1,942	1,775	1,712	145	132	163	173	147	133	126	152	139	149	131	122
	再 診	21,060	20,321	18,980	1,706	1,611	1,658	1,691	1,629	1,418	1,690	1,458	1,637	1,505	1,465	1,512
	延 数	23,002	22,096	20,692	1,851	1,743	1,821	1,864	1,776	1,551	1,816	1,610	1,776	1,654	1,596	1,634
心 臓 血 管 外 科	初 診	506	492	471	53	42	51	41	27	39	34	40	49	29	29	37
	再 診	6,045	6,008	5,760	551	464	497	508	452	430	496	458	512	450	472	470
	延 数	6,551	6,500	6,231	604	506	548	549	479	469	530	498	561	479	501	507
神 経 内 科	初 診	527	282	314	29	34	37	33	37	22	28	25	22	16	16	15
	再 診	5,294	3,934	3,460	307	281	319	361	277	239	335	271	272	278	253	267
	延 数	5,821	4,216	3,774	336	315	356	394	314	261	363	296	294	294	269	282
脳 神 経 外 科	初 診	586	548	511	52	40	33	47	44	43	56	44	40	34	40	38
	再 診	4,906	3,774	4,146	352	336	299	363	332	368	320	328	320	423	321	384
	延 数	5,492	4,322	4,657	404	376	332	410	376	411	376	372	360	457	361	422
内 科	初 診	884	945	724	56	59	72	60	68	49	72	51	67	73	50	47
	再 診	14,129	18,161	18,325	1,555	1,552	1,433	1,663	1,562	1,422	1,665	1,490	1,620	1,518	1,381	1,464
	延 数	15,013	19,106	19,049	1,611	1,611	1,505	1,723	1,630	1,471	1,737	1,541	1,687	1,591	1,431	1,511
外 科	初 診	555	521	520	16	21	33	95	63	52	69	64	41	35	16	15
	再 診	4,400	4,891	4,956	376	377	373	519	499	397	458	369	400	413	362	413
	延 数	4,955	5,412	5,476	392	398	406	614	562	449	527	433	441	448	378	428
小 児 科	初 診	541	434	374	41	37	45	43	46	24	20	20	35	29	16	18
	再 診	3,991	3,782	3,557	258	280	321	383	479	284	293	271	275	194	229	290
	延 数	4,532	4,216	3,931	299	317	366	426	525	308	313	291	310	223	245	308
呼 吸 器 科	初 診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再 診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整 形 外 科	初 診	139	145	118	14	9	15	8	16	10	6	6	10	10	7	7
	再 診	1,733	1,566	1,413	94	124	128	111	167	100	101	124	127	111	101	125
	延 数	1,872	1,711	1,531	108	133	143	119	183	110	107	130	137	121	108	132
眼 科	初 診	245	258	258	21	31	24	32	34	11	19	18	17	13	20	18
	再 診	3,585	3,718	3,502	316	308	315	307	303	238	305	288	323	250	243	306
	延 数	3,830	3,976	3,760	337	339	339	339	337	249	324	306	340	263	263	324
耳 鼻 咽 喉 科	初 診	368	388	336	29	29	31	36	29	22	25	19	26	28	32	30
	再 診	2,465	2,680	2,391	234	208	204	228	227	184	178	213	172	186	191	166
	延 数	2,833	3,068	2,727	263	237	235	264	256	206	203	232	198	214	223	196
皮 膚 科	初 診	286	262	264	16	32	24	23	29	25	24	18	24	19	18	12
	再 診	2,780	2,612	2,497	206	233	212	232	231	197	197	213	224	174	182	196
	延 数	3,066	2,874	2,761	222	265	236	255	260	222	221	231	248	193	200	208
リハビリテーション科	初 診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再 診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯 科	初 診	520	506	622	67	78	65	64	52	36	44	54	44	31	39	48
	再 診	4,392	4,389	4,513	360	349	375	390	365	343	396	389	447	384	340	375
	延 数	4,912	4,895	5,135	427	427	440	454	417	379	440	443	491	415	379	423
総 数	初 診	7,099	6,556	6,224	539	544	593	655	592	466	523	511	514	466	414	407
	再 診	74,780	75,836	73,500	6,315	6,123	6,134	6,756	6,523	5,620	6,434	5,872	6,329	5,886	5,540	5,968
	延 数	81,879	82,392	79,724	6,854	6,667	6,727	7,411	7,115	6,086	6,957	6,383	6,843	6,352	5,954	6,375

令和元年度 年齢別延患者数（外 来）

区 分	総数	循環器科	心臓血管 外科	神経内科	脳神経 外科	内 科	外 科	小児科	呼吸器科	整形外科	眼 科	耳鼻咽喉科	皮膚科	リハビリテー ション科	歯 科	
男	(0歳)	(68)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(66)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	
	(1～6歳)	(227)	(5)	(4)	(1)	(4)	(0)	(206)	(0)	(0)	(0)	(1)	(4)	(0)	(0)	
	0～9歳	414 (1.0%)	5	4	2	14	0	3	364	0	0	7	10	5	0	0
	10～19歳	835 (2.0%)	35	3	56	153	33	11	479	0	7	15	30	13	0	0
	20～29歳	899 (2.1%)	54	11	57	199	65	33	439	0	3	6	19	13	0	0
	30～39歳	1,069 (2.5%)	177	64	50	156	193	51	273	0	16	24	32	33	0	0
	40～49歳	2,146 (5.0%)	661	154	122	229	551	107	144	0	14	51	60	53	0	0
	50～59歳	3,874 (9.1%)	1,444	334	170	163	972	259	132	0	27	117	152	104	0	0
	60～69歳	9,239 (21.7%)	3,273	844	503	434	2,410	620	70	0	123	366	315	281	0	0
	70歳以上	24,133 (56.6%)	7,991	2,587	1,110	893	6,045	2,004	60	0	455	1,217	814	957	0	0
	うち75歳以上	16,447 (38.6%)	5,340	1,780	786	601	3,914	1,514	6	0	332	879	582	713	0	0
総数	42,609 (100.0%)	13,640	4,001	2,070	2,241	10,269	3,088	1,961	0	645	1,803	1,432	1,459	0	0	
女	(0歳)	(105)	(1)	(4)	(0)	(0)	(0)	(98)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	
	(1～6歳)	(246)	(2)	(2)	(1)	(2)	(1)	(4)	(204)	(0)	(1)	(3)	(15)	(11)	(0)	(0)
	0～9歳	441 (1.4%)	4	7	2	3	1	4	387	0	1	4	16	12	0	0
	10～19歳	734 (2.3%)	39	9	55	136	51	13	398	0	1	9	7	16	0	0
	20～29歳	831 (2.6%)	56	18	43	143	102	12	381	0	0	10	32	34	0	0
	30～39歳	919 (2.9%)	87	13	54	209	178	46	262	0	5	18	22	25	0	0
	40～49歳	1,944 (6.1%)	241	58	106	277	618	94	250	0	32	61	107	100	0	0
	50～59歳	2,799 (8.8%)	557	166	131	337	938	178	119	0	38	104	150	81	0	0
	60～69歳	5,741 (18.0%)	1,055	420	225	412	2,092	504	86	0	121	332	283	211	0	0
	70歳以上	18,571 (58.1%)	5,013	1,539	1,088	899	4,800	1,537	87	0	688	1,419	678	823	0	0
うち75歳以上	13,126 (41.0%)	3,679	1,037	794	532	3,166	1,078	69	0	564	1,120	441	646	0	0	
総数	31,980 (100.0%)	7,052	2,230	1,704	2,416	8,780	2,388	1,970	0	886	1,957	1,295	1,302	0	0	
総計	79,724	20,692	6,231	3,774	4,657	19,049	5,476	3,931	0	1,531	3,760	2,727	2,761	0	5,135	

令和元年度 年齢別延患者数（入院）

区分	総数	循環器科	心臓血管外科	神経内科	脳神経外科	内科	外科	小児科	呼吸器科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	リハビリテーション科	歯科	
男	(0歳)	(7)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(7)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	(1～6歳)	(681)	(0)	(35)	(0)	(0)	(0)	(646)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	0～9歳	703 (2.4%)	0	35	0	6	0	0	662	0	0	0	0	0	0	
	10～19歳	293 (1.0%)	13	9	0	99	16	1	155	0	0	0	0	0	0	
	20～29歳	324 (1.1%)	17	17	0	27	1	11	251	0	0	0	0	0	0	
	30～39歳	353 (1.2%)	61	100	9	96	11	13	54	0	0	0	0	0	0	9
	40～49歳	859 (3.0%)	379	155	67	149	69	32	8	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	1,481 (5.1%)	751	235	140	64	99	138	46	0	0	0	4	0	0	4
	60～69歳	5,204 (17.9%)	2,009	1,273	882	196	377	465	0	0	0	0	2	0	0	0
	70歳以上	19,882 (68.3%)	8,978	3,645	1,842	385	3,104	1,880	14	0	0	0	4	0	0	30
	うち75歳以上	15,314 (52.6%)	6,819	2,757	1,155	254	2,730	1,533	14	0	20	0	2	0	0	30
総数	29,099 (100.0%)	12,208	5,469	2,940	1,022	3,677	2,540	1,190	0	0	0	10	0	0	43	
女	(0歳)	(135)	(0)	(32)	(0)	(0)	(0)	(103)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	(1～6歳)	(58)	(0)	(9)	(0)	(0)	(0)	(49)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	0～9歳	193 (1.1%)	0	41	0	0	0	0	152	0	0	0	0	0	0	
	10～19歳	165 (0.9%)	14	21	0	38	0	4	88	0	0	0	0	0	0	
	20～29歳	351 (1.9%)	19	28	4	212	25	0	61	0	0	0	2	0	0	
	30～39歳	376 (2.1%)	12	9	2	206	34	0	113	0	0	0	0	0	0	
	40～49歳	438 (2.4%)	75	53	6	169	54	6	75	0	0	0	0	0	0	
	50～59歳	842 (4.6%)	161	126	39	321	82	58	53	0	0	0	2	0	0	
	60～69歳	2,470 (13.6%)	892	527	201	150	224	257	219	0	0	0	0	0	0	
	70歳以上	13,357 (73.4%)	6,762	1,561	1,245	317	2,523	915	10	0	0	0	4	0	0	20
	うち75歳以上	11,453 (63.0%)	5,889	1,093	1,177	192	2,296	770	0	0	20	0	0	0	0	16
総数	18,192 (100.0%)	7,935	2,366	1,497	1,413	2,942	1,240	771	0	0	0	8	0	0	20	
総計	47,291	20,143	7,835	4,437	2,435	6,619	3,780	1,961	0	0	0	18	0	0	63	

令和元年度 年齢別延患者数（合計）

区分	総数		循環器科	心血管外科	神経内科	脳神経外科	内科	外科	小児科	呼吸器科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	リハビリテーション科	歯科
男	総数	71,708 (100.0%)	25,848	9,470	5,010	3,263	13,946	5,628	3,151	0	645	1,803	1,442	1,459	0	43
	(0歳)	(75) (0.1%)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(73)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)
	(1～6歳)	(908) (1.3%)	(5)	(39)	(1)	(4)	(0)	(2)	(852)	(0)	(0)	(0)	(1)	(4)	(0)	(0)
	0～9歳	1,117 (1.6%)	5	39	2	20	0	3	1,026	0	0	7	10	5	0	0
	10～19歳	1,128 (1.6%)	48	12	56	252	49	12	634	0	7	15	30	13	0	0
	20～29歳	1,223 (1.7%)	71	28	57	226	66	44	690	0	3	6	19	13	0	0
	30～39歳	1,422 (2.0%)	238	164	59	252	204	64	327	0	16	24	32	33	0	9
	40～49歳	3,005 (4.2%)	1,040	309	189	378	620	139	152	0	14	51	60	53	0	0
	50～59歳	5,355 (7.5%)	2,195	569	310	227	1,071	397	178	0	27	117	156	104	0	4
	60～69歳	14,443 (20.1%)	5,282	2,117	1,385	630	2,787	1,085	70	0	123	366	317	281	0	0
	70歳以上	44,015 (61.4%)	16,969	6,232	2,952	1,278	9,149	3,884	74	0	455	1,217	818	957	0	30
	うち75歳以上	31,761 (44.3%)	12,159	4,537	1,941	855	6,644	3,047	20	0	352	879	584	713	0	30
女	総数	50,172 (100.0%)	14,987	4,596	3,201	3,829	11,722	3,628	2,741	0	886	1,957	1,303	1,302	0	20
	(0歳)	(240) (0.5%)	(1)	(36)	(0)	(0)	(0)	(0)	(201)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)
	(1～6歳)	(304) (0.6%)	(2)	(11)	(1)	(2)	(1)	(4)	(253)	(0)	(1)	(3)	(15)	(11)	(0)	(0)
	0～9歳	634 (1.3%)	4	48	2	3	1	4	539	0	1	4	16	12	0	0
	10～19歳	899 (1.8%)	53	30	55	174	51	17	486	0	1	9	7	16	0	0
	20～29歳	1,182 (2.4%)	75	46	47	355	127	12	442	0	0	10	34	34	0	0
	30～39歳	1,295 (2.6%)	99	22	56	415	212	46	375	0	5	18	22	25	0	0
	40～49歳	2,382 (4.7%)	316	111	112	446	672	100	325	0	32	61	107	100	0	0
	50～59歳	3,641 (7.3%)	718	292	170	658	1,020	236	172	0	38	104	152	81	0	0
	60～69歳	8,211 (16.4%)	1,947	947	426	562	2,316	761	305	0	121	332	283	211	0	0
	70歳以上	31,928 (63.6%)	11,775	3,100	2,333	1,216	7,323	2,452	97	0	688	1,419	682	823	0	20
	うち75歳以上	24,579 (49.0%)	9,568	2,130	1,971	724	5,462	1,848	69	0	584	1,120	441	646	0	16
総計	127,015		40,835	14,066	8,211	7,092	25,668	9,256	5,892	0	1,531	3,760	2,745	2,761	0	63

75歳以上全体 56,340

割合 44.4%

病棟別入退院状況

病棟名	病床数 a				入院 b				退院 c				延患者数 d				1日患者数 (d/365) *小数点以下切り上げ				病床利用率 d/(a*365)				平均在院日数 (d/((b+c)/2))			
	28	29	30	31	28	29	30	31	28	29	30	31	28	29	30	31	28	29	30	31	28	29	30	31	28	29	30	31
3A病棟	40	40	27	27	430	475	383	378	454	457	347	355	7,822	7,606	7,420	7,381	22	21	21	21	53.6	52.0	75.3	74.7	17.7	16.3	20.3	20.1
4A病棟	40	40	40	40	382	528	489	459	781	854	791	709	12,474	12,318	11,917	11,525	35	34	33	32	85.4	84.1	81.6	78.7	21.5	17.8	18.6	19.7
4B病棟	40	40	40	40	876	924	876	792	910	903	879	803	9,415	10,099	10,693	9,951	26	28	30	28	64.5	69.0	73.2	68.0	10.5	11.1	12.2	12.5
5A病棟	40	40	40	40	337	129	160	152	642	516	391	375	9,487	7,604	5,977	6,310	26	21	17	18	65.0	51.9	40.9	43.1	19.4	23.6	21.7	23.9
5B病棟	40	40	40	40	713	748	786	719	917	876	820	727	11,324	10,317	7,671	7,756	31	29	22	22	77.6	70.5	52.5	53.0	13.9	12.7	9.6	10.7
一般計	200	200	187	187	2,738	2,804	2,694	2,500	3,704	3,606	3,228	2,969	50,522	47,944	43,678	42,923	139	131	120	118	69.2	65.5	64.0	62.7	15.7	15.0	14.8	15.7
ICU	10	10	10	10	377	237	139	113	40	34	19	30	2,390	2,328	2,304	1,916	7	7	7	6	65.5	63.6	63.1	52.3	11.5	17.2	29.2	26.8
CCU/SCU	10	10	10	10	685	618	465	411	53	51	41	30	2,740	2,608	2,644	2,452	8	8	8	7	75.1	71.3	72.4	67.0	7.4	7.8	10.5	11.1
小計	20	20	20	20	1062	855	604	524	93	85	60	60	5,130	4,936	4,948	4,368	15	14	14	12	70.3	67.6	67.8	59.7	8.9	10.5	14.9	15.0
合計	220	220	207	207	3,800	3,659	3,298	3,024	3,797	3,691	3,288	3,029	55,652	52,880	48,626	47,291	153	145	134	130	69.3	65.7	64.4	62.4	14.7	14.4	14.8	15.6

手術等件数

区 分		28年度	29年度	30年度	元年度	月 別 内 訳												
		総数	総数	総数	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
手術室による	一般外科	72	102	163	87	8	7	7	9	10	6	7	6	8	6	2	11	
	心臓血管外科	262	287	442	229	17	15	14	27	20	15	18	18	26	21	22	16	
	脳神経外科	114	105	47	26	2	1	2			1	3	3	3	3	3	5	
	整形外科	2	0	0	0													
	耳鼻咽喉科	0	0	0	0													
	眼科	0	0	0	0													
	歯科	6	17	5	3				1	1							1	
	合計	456	511	657	345	27	23	23	37	31	22	28	27	37	30	27	33	
	経皮的冠動脈形成術等	889	879	1,618	853	71	74	70	75	74	52	68	69	70	74	68	88	
	心臓カテーテル法等検査	926	916	1,059	550	59	43	56	69	52	45	24	41	50	41	29	41	
ガンマナイフ	495	496	679	356	41	24	30	15	34	26	32	32	37	27	25	33		
MRI(磁気共鳴コンピュータ断層撮影)	6,699	6,402	8,717	4,547	410	353	375	443	387	330	355	389	359	415	354	377		

救急患者統計

診療科別患者数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	循環器科	心臓血管外科	神経内科	脳神経外科	内科	外科	小児科	整形外科	その他
入院	1,350	1,174	917	827	469	58	86	27	86	72	29	0	0
非入院	1,648	1,450	1,082	1,254	374	64	77	32	277	322	93	1	14
計	3,269	2,998	1,999	2,081	843	122	163	59	363	394	122	1	14

二次保健医療圏別患者数

令和元年度	千葉	東葛南部	東葛北部	印旛	香取海匝	市原	山武長生 夷隅	安房	君津	県外	合計
入院	30	4	3	8	3	304	411	3	47	14	827
非入院	41	5	0	2	0	642	497	3	42	22	1254
計	71	9	3	10	3	946	908	6	89	36	2081

患者の来院方法別内訳

令和元年度	総 計			初期救急医療施設からの転送			二次救急医療施設からの転送			直 接		
	救急車	その他	計	救急車	その他	小計	救急車	その他	小計	救急車	その他	小計
入院	558	269	827	37	13	50	123	9	132	398	247	645
非入院	387	867	1,254	13	12	25	14	14	28	360	841	1,201
計	945	1,136	2,081	50	25	75	137	23	160	758	1,088	1,846